

兵庫県たつの市において、増加する移住、出店希望者に対する取組である。これらの相談に対応するとともに、移住ツアーやお試し移住住宅を運営することで、新たなライフスタイルに対応した居住・移住支援をおこなった。

■ 事業概要

事業部門	3)ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	兵庫県たつの市
背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公設民営の空き家相談センターとして、約500物件以上の空き家相談に対応している。 ・コロナ禍以降は、移住や出店に関する相談が増加傾向にある。 ・空き家バンクでは空き家所有者は売却を希望し、移住希望者は賃貸入居を希望するミスマッチが頻発。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する移住出店相談に対応し、さらにお試し移住住宅を設置することで、コロナ禍における新たな働き方（ワーケーション、多拠点居住）や、新たな居住ニーズ（職住近接）の受け入れ可能性を探る。 ・重伝建地区になったたつの市城下町における空き家を活用した新たな移住者定着モデルをつくる。
連携する団体・役割	たつの市、兵庫県立大学、NPO法人ひとまちあーと等

■ 取組内容と成果

取組1 アップサイクル型お試し移住住宅の設置運営

たつの市内の空き家をお試し移住住宅として設置し、移住希望者に移住体験を提供した。これまで検討してきたアップサイクルが活かせるように、家具などはアップサイクル家具を配置した。

取組2 移住、出店相談対応

移住・出店相談に対応し、さらに移住が実現するように、移住ツアー（空き家の見学等）を実施した。

取組3 行政、市内事業者と連携した移住希望者受け入れ

行政に来ている移住希望相談を当法人でも対応できるようにし、移住ツアーやお試し移住につないだ。市内事業者との意見交換を重ね、お試し移住を拡げるための検討をおこなった。また、お試し移住住宅の運用フローについてステークホルダーごとの役割を整理した。



▲お試し移住住宅



▲移住ツアーの様子